

# Weeds

くまもと障害者労働センター  
〒862熊本市保田溝本町94  
TEL 096-382-0861  
発行日 1992.1.20

## リフトバス贈呈式と忘年会

「雨降って地図まる」—(2月20日はそんな言葉が実感される一日でした。一年間いろいろなことがありました。楽しいこと、いいことだけではなく、落ちこぼり、傷つき合ったりなどもありました。でも、そんな中でも仕事をやり続け、センターを続けたいという気持ちを寄せ合ってやせてきたことがこの日、リフトバスというビックなクリスマスプレゼントとそれを祝福に集まってきた皆さんの暖かい気持ちにある。わたくし作の忘年会です。かり報われた思いでした。「92年はまたいい年になりますよ!」

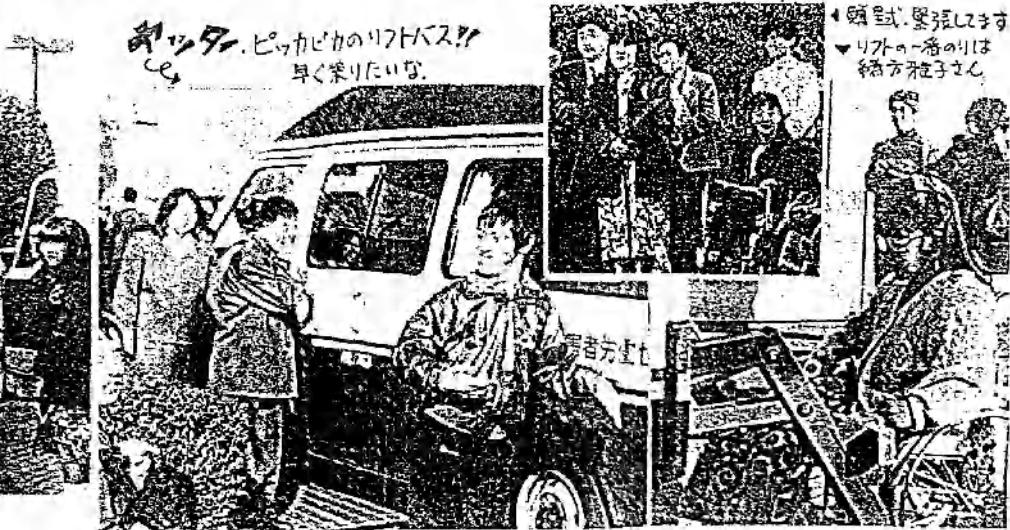
1991年12月20日に24時間TVよりリフトバスを贈呈してもらいました。当日は天気も良く労働センターみんなでKKTに贈呈式に行きました。リフトバスを貰うのは初めてだったので、目録を貰うとき緊張していた倉田代表でした。説明を聞いているときは、みんなワクワクしていた様子でした。その後、みんなでリフトバスに乗り込んで琴平神社に走り御払いをしてもらい労働センターに帰ってきました。

まだ新車なので、みんな傷を付けないように恐る恐る乗っています。

その夜、センターで忘年会を開きました。一人一人役割分担を決めて2日前より準備に取り掛かり、忘年会ができる雰囲気になりました。参加者も思っていたよりも多く、楽しい会となりました。参加者は、共生者生協の皆さん、くまもと生協の皆さん、高教組の先生、各学校の先生、その他沢山の人々が参加してくれました。飛び入りの福原君も……。

野口さんの名司会で会も順調に進み、カラオケも出てきました。新入り(新メンバー)の久島君もいやいやながら歌っていました。鹿本商工の大野先生の紙芝居もみんな良かったと言っていました。

この夜、遅くまでのみ明した人もいたようですが、楽しくて面白い忘年会になりました。最後に参加してくださった皆さん、ありがとうございました。



# 「おくればせの メンバー 紹介」



こんにちは。11月から労働センターで働く娘になりました久島雅樹です。今まで芦北町の施設に8年間居まして印刷の仕事をやっていました。労働センターには以前からよく顔は出していましたが、今度は本当に労働センターに腰を降ろしてみんなと頑張って行きたいと思います。

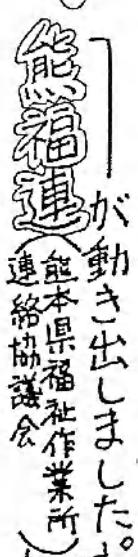
5年くらい前に、天草「共に生きる会」に入会した頃は、「施設が全て」だと思っていましたが、会を重ねる度に自分の考え方か変わっています。今回とうとう施設を出てきました。施設を出てきた理由はいろいろありますが、社会の中でみんなと共に手を取りあって生きていきたいという思いが第1の気持ちです。

これから、労働センターで自分に出来ることを精一杯やっていきたいと思いますので、どうか応援してください。それと労働センターの事もよろしくお願ひします。

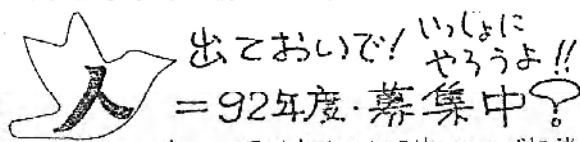
名前 平島浩美 年齢 18才

今まで、福祉生協（弁当部龍田支部）の仕事をしていましたが、三月の末までやめました。でも、仕事が、見つからないので、心配しました。共に生きる会の時に紹介をして、みんなで話会ってやっと見つかりました。障害者労働センターに9月30日（月）実習にきました。友達も仲良くなるし、一緒にしゃべったりして楽しい所です。10月に入って、少しずつなれてきました。まだ会っていない人もいるし、もし出来たら、お話ししたいなあとおもいます。

実習が終わったら、今まで以上頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。



昨年県障害者福祉作業所連絡協議会ができました。通称熊福連この作業連絡会では県内13ヶ所の小規模作業所から活動報告や困っていることを話し、これまでにも何度か、会を開きましたがまだ助成金を受けていない作業所もあり、障害が重く毎日通うことが出来ない人もいたり、ホランティアの人も来てくれないことが悩みの多いところです。この間県と市に交渉にいきました。内容は「助成金の金額を上げて欲しい」と言うこと、「期限を無くして欲しい」と話をしました。それから熊本県内と同じ人口でも明らかに違うことが、資料であったので交渉のとき提出しました。反応はどうだったかは、県は期限については前向きに検討することです。市は県の出方を見て検討すると答えが返ってききました。これから活動としては、県外の作業所を研修に行ったり、いろんな制度の勉強会をしたり行政と交渉を考えています。



\* メンバー…通所方法、時間等いろいろ相談下さい。

\* 車従……一緒に作業所で働いてくださる意欲のある人で、経理ができる(又はこれから覚えて)方と、手作業や食事・入浴等の生活面の介助を中心とする方。2名程度、時間や日数等は相談して決めたいと思います。

\* ホランティア…外出や行事の時、手助けしてくれる方、センターで販売する手作り品の作成を実費+α程度で請け負ってくれる方(自宅でも可)

\* 市役所との話の中での作業所が地域福祉上の責任者を担っていることは認めるが、今後どのようなニーズがあるのか行政ではつかめないので、どちらを具体的に示してほしいとの要請がありました。それでメンバー希望について、2~3年くらいの間に適当な作業所があれば行きたいという気持ちのある方をご存知でしたら、ご連絡下さい。